令和7年度　事業報告書

11月14日（金）　　日帰りゼミ　トヨタ博物館にて

社会福祉法人　遠州仏教積善会

救護施設　　慈　照　園

〒432-8023　静岡県浜松市中央区鴨江三丁目４番３号

電話　(053)452-3069
FAX　(053)452-3074
URL　http://jishoen.jp
E-mail　info@jishoen.jp

目　次

頁

社会福祉法人遠州仏教積善会　法人本部事業報告

1. 理念・・ 1
2. 令和７年度の振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 「地域における公益的な取組」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
4. 令和７年度社会福祉法人遠州仏教積善会評議員・理事・監事の会議開催状況・・・・・・・・・2

救護施設　慈照園　事業報告

1. 事業の目的・・3
2. 事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3. 令和７年度の振り返り　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
4. 入所者の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　(1)　年間利用状況　(2)　年間入退所者調　(3)　入所前の状況　(4)　退所者理由
　(5)　在所者年齢調　(6)　在所期間調　(7)措置者数と実施機関
　(8)　健康調及び各種年金受給者調　(9)各種手帳所持調　(10)生活（日常生活動作）の自立状況
5. 生活支援の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　(1)　生活支援目標　(2)　年間行事実施状況　(3)　クラブ活動実施状況
6. 作業支援の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　(1)園内作業
　　①園内作業実施状況　②作業稼働日と平均勤務日数　③年間勤務率
　　④月別作業日数　⑤月別平均支給金　⑥園内作業金収支状況　⑦業者別収入比較
　(2)　園外作業
　　①就労人数　②年間実働人数　③就労支援グループワーク「きぼう」
7. 保健の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　(1)　定期健康診断検査結果　(2)　月別通院調　(3)　診療科別通院調　(4)　感染症関係
　(5) 服薬管理　(6)　医療機関との連絡調整　(7)　清潔保持　(8)　歯科支援
　(9)　血圧・体重測定・メタボリックシンドロームをふまえた支援　(10)　健康相談
　(11) 健康の情報共有及び記録　(12) リハビリテーションの実施　(13) 環境美化の日
　(14) 広報及び啓発　(15) 保健の日　(16) 災害時の対応
8. 給食の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　(1)　令和７年度　年間平均実施給与栄養量（中盛）　(2)　食事の分類　(3) 特別食
　(4) 検査食　(5)　選択食　(6)　嗜好調査　(7)　あすなろ講座
9. 防災活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
10. 研修実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　(1)　園内研修　(2)　園外研修
11. 地域交流状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
12. 居宅生活訓練事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
13. 通所事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
　・デイサービス・通所事業の利用状況・自立援助事業（訪問）の取り組み状況
14. 一時入所事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
15. 苦情解決システム実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
　(1)　苦情申出人数　(2)　申出方法　(3)　所属　(4)　相談の内容
　(5)　相談分野　(6)　解決結果　(7)　生活相談会利用者数
16. 情報公開の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
17. リスクマネジメントの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
18. 職員の構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
19. 施設整備状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
20. アンケート結果報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
21. 福祉サービス第三者評価結果（抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

社会福祉法人 遠州仏教積善会 法人本部事業報告

1.理念

社会福祉法人 遠州仏教積善会は、『慈悲』と『寛容』の精神をもって、明治 45 年に「遠州保護会」を創設し、大正 10 年に「財団法人 遠州仏教積善会」と法人格を持つ組織に改め、さらに昭和 27 年に社会福祉事業法(当時)に基づく「社会福祉法人 遠州仏教積善会」に組織変更した法人です。私たちは、『多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を営むことができるよう支援する』ように健全な経営に取り組みます。

2. 令和 7 年度の振り返り

第 2 期増改築工事について、工事費用に係る浜松磐田信用金庫より借入金の返済継続をした。

令和 6 年度決算を受けて、福祉充実残額の計算をした結果、福祉充実残額は生じなかったため、充実計画の策定は不要となった。

また「地域における公益的な取組」として、生活困窮者支援において、慈照園が就労訓練事業所の認定を受けているが、本年度の利用は無かった。赤い羽根共同募金の助成を受け、子ども食堂イベントを開催した。

3.「地域における公益的な取組」

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

取組類型コード分類	取組の名称	取組内容	結果
地域の要支援者に対する相談支援	生活困窮者支援	就労訓練事業所の認定を受け、就労支援に取り組んだ。	就労訓練受け入れは無し。
地域の要支援者に対する相談支援	生活困窮者支援	施設退所者に対する自立相談支援を実施した。	本報告書 29 ページ参照
地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援	地域に向けた事業展開	子ども食堂やサロン活動をとおして、地域住民の居場所づくりに取り組んだ。	本報告書 26・29 ページ参照
既存事業の利用料の減額、免除	既存事業の利用料の減額、免除	保護施設通所事業において、一部の非措置者に対し事務費免除。	本報告書 28・29 ページ参照。
地域住民に対する福祉教育	実習生の受け入れ	実習生の受け入れによる福祉人材の育成	本報告書 26 ページ参照
地域の関係者とのネットワークづくり	静岡 TS ネットワークへの参画	触法障害者支援を行う TS ネットワークへの職員参加協力。	本報告書 26 ページ参照
地域の関係者とのネットワークづくり	地域のイベントへの参加	地元自治会主催の秋まつりや公民館まつり等への参加。	本報告書 26 ページ参照
その他	イベントの開催	盆踊り大会、地域体験交流会、主催した。	本報告書 26 ページ参照
その他	子ども支援	こどもえんにち(キッズマルシェ、練り切り・ランチ、飾り巻き寿司)、キッズボランティアでキャンドルづくりを実施した。	本報告書 26 ページ参照
その他	清掃活動	利用者と職員が地域の公園やこども園の清掃活動を行った。	本報告書 10 ページ参照

4. 令和７年度 社会福祉法人遠州仏教積善会 評議員・理事・監事の会議開催状況

年月日	会議名	場所	内容	出席人数
令和７年 5月28日(水)	監事監査	慈照園	・令和６年度 本部・施設事業会計監査	監事２名 理事２名
令和７年 6月6日(金)	第１回 理事会	慈照園 一部オンライン	1. 令和６年度 事業報告書(案) 2. 令和６年度決算書(案)及び監事監査報告 3. 新役員案の提示 4. 評議員の選任候補者の推薦 5. 評議員選任・解任委員会の招集 6. 評議員会の招集 7. 評議員選任・解任委員会の委員の選任 職務執行状況報告	理事６名 監事１名
令和７年 6月27日(金)	第１回 評議員会	慈照園	1. 令和６年度決算書の承認 2. 新役員の選任 令和６年度事業報告、令和７年度事業計画報告	評議員６名 理事６名 監事１名
令和７年 6月27日(金)	第２回 理事会	慈照園	1. 会長の選任 2. 業務執行理事の選定 報告事項	理事７名 監事１名
令和７年 9月29日(月)	第3回 理事会	慈照園	1. 令和７年度補正予算(案) 2. 慈照園近隣の土地の案件 職務執行状況報告	理事７名 監事１名
令和７年 10月28日(火)	第４回 理事会	決議の省略	1. 慈照園近隣の土地購入の契約 2. 評議員会の決議の省略	理事７名 監事２名
令和７年 11月5日(水)	第２回 評議員会	決議の省略	1. 慈照園近隣の土地購入の契約	評議員８名
令和７年 11月25日(火)	監事 中間監査	慈照園	・令和７年度上半期分 本部・施設事業会計中間監査	監事１名 理事２名
令和８年 1月28日(水)	第5回 理事会	慈照園 一部オンライン	1. 令和７年度補正予算(案) 2. 業務委託業者の選定 3. 役員賠償責任保険の契約 職務執行状況報告、監事中間監査報告	理事７名 監事２名
令和８年 3月27日(金)	第６回 理事会	慈照園	1. 令和７年度補正予算書(案) 2. 正規職員給与規程の一部改定(案) 3. 経理規程の一部改定(案) 4. 令和８年度事業計画書(案) 5. 令和８年度資金収支予算書(案) 6. 福祉サービスに関する苦情解決取扱規程の一部改定(案) 7. 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任 職務執行状況報告	理事７名 監事１名

救護施設　慈照園　事業報告

1. 事業の目的

生活保護法第38 条による「救護施設」です。心身に障害や疾病を持ち、独力で生活することが困難な人たちに、日常生活に必要な援助及び介助・作業・リハビリ等に加え、居宅訓練事業を通じて、自立できるよう支援をし、さらに就労や社会参加、地域生活への移行の支援をすることを目的としています。

「自立」とは、就労等による「経済的自立」、自分で自分の健康・生活管理を行う「日常生活自立」、社会的なつながりを回復・維持し地域社会の一員として充実した生活を送る「社会生活自立」を含んだものです。

2. 令和７年度事業方針

・組織体制を整備し、業務遂行体制を強化する。
・日常より感染症予防対策をとり、感染者発生時には拡大予防策を実施する。
・6月までに個別支援計画を完成させ、利用者本人の同意を得た計画を福祉事務所と共有する。
必要時・設定時にモニタリングを実施する。個別支援計画を軸とした支援体制の構築をはかる。
・日常生活活動や行事等を創意工夫して実施する。
・利用者・職員の利便性を高め、利用者の個別支援の推進をはかる。
・入所者の地域移行を推進するため、居宅訓練や通所事業の充実を図る。
・入所者の就労支援を推進するため、施設内の作業に加え、他機関との連携や定着支援を強化する。
・地域貢献活動として通所事業および独自事業を充実させる。
・サービス向上のため、福祉サービス自己評価をしてサービスの改善をするとともに、職員の研修等を通じ資質向上を図る。

【事業内容】

◆ 安心安全な毎日のために

日常生活支援　個別支援計画に基づき、衣食住の環境を整え、健康に生活を送る支援をします。

◆生き生きとした毎日のために

日中活動支援　お一人おひとりの能力や適性を活かし、園内外での作業やクラブ活動等を通じて心豊かに社会参加する支援をします。

◆ 将来に向かって

地域移行支援　多くの方が持つ「アパートで暮らしたい」という願いを実現するため、入所中より地域移行に向け、地域生活に必要な「ごはん、おかね、くすり」の自己管理を段階的に進め、自立支援をします。

居宅生活訓練事業　地域生活を送るために、まずアパートで単身生活を送る練習をします。

◆地域生活継続のために

通所事業　退所者等が地域社会での安定した自立生活を送れるように、通所・訪問・交流会等の支援をします。

【重点事業項目】

1. 組織体制の整備・再編　業務遂行体制の強化
2. 個別支援計画に基づく支援
3. 地域移行支援・地域貢献活動の強化

3. 令和７年度の振り返り

令和7年度の入所者の状況については、年度当初は52名で始まり、地域移行と他施設転所により退所者が多く、年間退所者19名、新規入所者16名、年度末は46名在籍となった。施設利用促進のため、病院や障害者サービスの支援者を対象とした慈照園説明会を初めて開催した。

4月以降の事務費の職員加算が認定されたが、職員の退職が続きその補充採用が即時にできなかったため、加算分の事務費の増減が続いた。新任職員に対するOJTの体制を整えた。

引き続き新型コロナウイルス等感染予防対策として、リスクマネジメント委員会を中心に、日常生活上での体調チェック等の感染対策を実施した。令和7年8～9月に咽頭痛や熱発（抗原検査陰性）の患者13名発生したが、BCPに従ってゾーニングを行い感染拡大に努めた。

行事等についても開催し、日中活動や日曜外出、他施設との交流等を行った。園内作業の下請け作業品目が増加した。

居宅生活訓練を利用し、アパートや障害者グループホームへ地域移行の支援へつながっている。

また、人材育成のため、職員による自己評価を行い、人事考課を実施した。

令和6年10月より、救護施設における個別支援計画策定が制度化され、福祉事務所との情報共有が求められるようになった。福祉事務所には援助方針の情報共有を働きかけ、個別支援計画の提出を進めたが、定着と福祉事務所による意識格差解消が今後の課題となった。

地域で生活する退園者の一時入所や入所経験の無い地域高齢者障害者の通所事業や一時入所利用があった。地域生活の継続や切れ目のない支援、地域住民を広く対象とした地域福祉の担い手としての役割が求められた。

地域のニーズとしてある子ども支援について、「こどもえんにち」を8月12月3月に開催した。12月は浜松市社協を通じて赤い羽根共同募金の助成を受け、ランチの提供を実施した。キッズボランティアの機会としてキッズキャンドルを開始し、地域福祉につなげた。

退園者交流会では、退園者及び地域住民などを招待し、小規模ながら交流することができた。

地域移行を進め、緊急性を持った新規入所の受け入れが増加すると精神的不調や高度な支援を必要な利用者も多くなるため、職員にはより高い専門性が求められる状況である。園外研修へ参加し、外部講師を依頼して施設内職員研修を実施した。

福祉サービス第三者評価について、令和6年度に静岡県社会福祉協議会に委託して受審し、6年度末に受け取った結果について、サービス向上への取り組みを行った。

4.入所者の状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(1)　年間利用状況　　(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
定　員	50	50	50	50	50	50	50
初日人員	52	53	50	50	49	50	51
入所	3	1	3	0	1	1	2
退所	0	6	0	2	1	0	3
延人数	1560	1542	1500	1518	1513	1470	1528
利用率(%)	104.0	106.0	100.0	100.0	98.0	100.0	102.0
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
定　員	50	50	50	50	50	600	
初日人員	49	48	48	47	46	593	
入所	1	1	2	0	1	16	
退所	2	2	1	2	0	19	
延人数	1465	1454	1487	1312	1426	17775	
利用率(%)	98.0	96.0	96.0	94.0	92.0	97.4	

(2)　年間入退所者調

区　分	R7.3.31時点	入所者数	退所者数	R8.3.31時点	年間実人員(名)
人員	49	16	19	46	65

(3)　入所前の状況

(名)

区　分	在宅	グループホーム	他救護施設	精神科病院	一般病院	その他	計
人員	6	3	0	4	0	3	16

(4)　退所者理由調

(名)

区分	単身居宅			家族と同居	他施設転所					病院入院		司法施設	死亡	無断退所	その他	計
	就労	通所	非就労		障害者グループホーム	他の救護施設	養護老人ホーム	介護保険施設	その他	精神科	その他					
人員	2	3	0	0	3	1	1	2	2	1	3	0	1	0	0	19

(5)　在所者年齢調　　令和8年3月31日現在

(名)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	計
男	0	1	4	6	12	10	4	37
女	0	2	0	0	3	4	0	9

（平均年齢　　53.2　歳）

(6)　在所期間調

令和8年3月31日現在

(名)

期間	1年未満	1～5年	5～10年	10～15年	15～20年	20～25年	25年以上	計
人員	14	18	8	4	2	0	0	46

(平均在園期間　3.9　年)

(7)　措置者数と実施機関(福祉事務所)

令和8年3月31日現在

(名)

実施機関		措置者数	実施機関	措置者数
浜松市中央	中	24	磐田市福祉事務所	5
	東	4	掛川市福祉事務所	0
	西	1	袋井市福祉事務所	2
	南	0	菊川市福祉事務所	1
浜松市浜名区	北	2	静岡市葵区福祉事務所	1
	浜北	2	藤枝市福祉事務所	1
			湖西市福祉事務所	2
個人契約者合計		1	措置者合計	46

(8)　健康調及び各種年金受給者調

令和8年3月31日現在

		老齢年金	厚生障害年金	障害基礎	その他の年金	計
精神障害	31	3	2	10	1	16
知的障害	3	0	0	3	0	3
精神＋知的	6	0	1	2	1	4
精神＋身体	3	0	0	1	0	1
精神＋知的＋身体	0	0	0	0	0	0
知的＋身体	0	0	0	0	0	0
身体障害	1	0	0	0	0	0
病弱	2	1	0	0	0	1
計	46	4	3	16	2	25

(9)　各種手帳所持調

令和8年3月31日現在

(名)

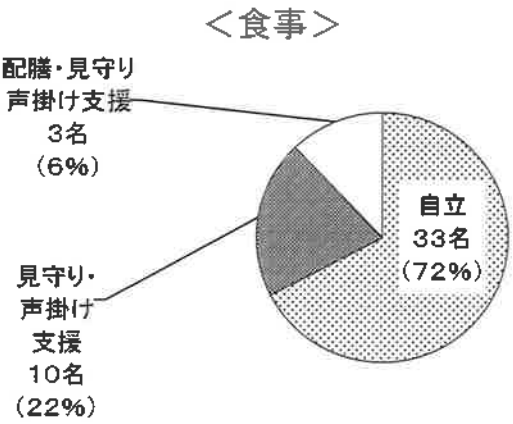
	身体障害者手帳					
	1級	2級	3級	4級	5級	6級
人数	2	1	0	0	0	1
計	4					

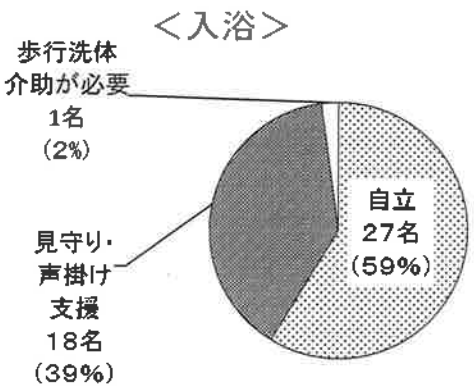
	精神保健福祉手帳			療育手帳	
	1級	2級	3級	A	B
人数	2	25	3	1	5
計	30			6	

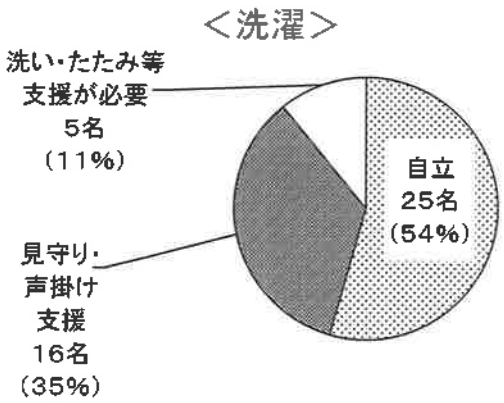
（10） 生活（日常生活動作）の自立状況

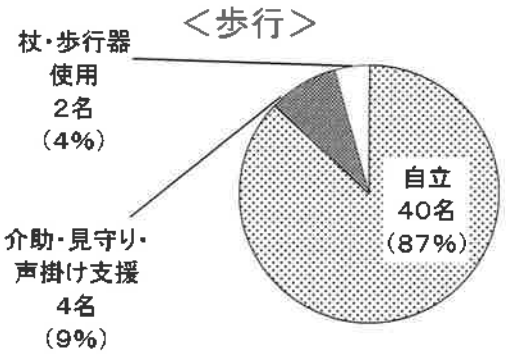
令和８年３月３１日現在

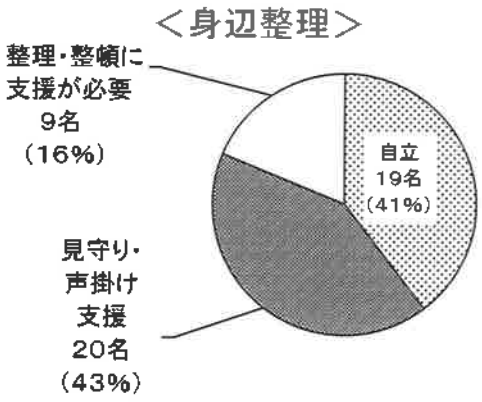
自立状況は、食事７割強、入浴５割強、洗濯５割、歩行８割強、身辺整理４割、金銭管理３割弱である。昨年度と比較すると、全体的項目では平均的な微増、微減の推移である。見守りや声掛け支援などの生活全般的な支援が必要な利用者が増加している状況にある。

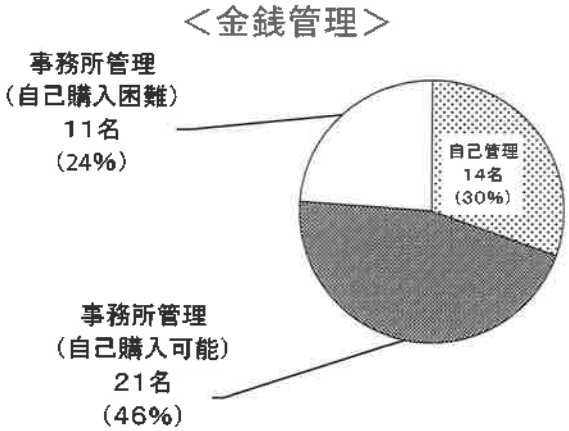












5. 生活支援の状況

(1)生活支援目標(テーマ)

令和7年度は、利用者の互選により選出した役員を中心に自治会を運営。自分たちの手で生活の向上を図るため生活支援目標（テーマ）を立て、毎月懇談会を行った。懇談会では生活支援目標(テーマ)について話し合うと共に、生活上で困っていることや改善点も取り上げている。それにより、園内の約束やマナーについて、それぞれの解決方法として意見を出し合い話し合うことができた。

月	テーマ	朝礼スピーチテーマ
4	生活のマナーを身につけよう	春を感じる時
5	体力をつけよう	
6	衛生面を見直そう	夏に向けて頑張りたいこと
7	食中毒に気をつけよう	
8	暑さに負けずに頑張ろう	暑さに負けないくらい熱くなっているもの
9	災害について考えよう	
10	季節を感じよう	食欲の秋に食べたいもの
11	礼儀を正そう	
12	１年を振り返ろう	寒さに負けないくらい心が温かくなったこと(温かい思い出)
1	新しい目標を決めよう	
2	感染症に気をつけよう	行ってみたい、やってみたい事
3	整理整頓をしっかりやろう	

(2) 年間行事実施状況

月	日	行事	クラブ	月	日	行事	クラブ
4	1	避難訓練・懇談会・誕生会・身体測定		5	1	避難訓練・懇談会・誕生会・室内ゲーム	
		ペタボード大会・日用品代支給				日用品代支給・身体測定・クリーン作戦	
	2				2		
	3	指導員会議・リスクマネジメント委員会			3		
	4				4		
	5				5		
	6				6		
	7				6		
	8		茶道		7	指導員会議	
	9	内科来診・介護職員会議			8	精神科来診・自動車文庫	
	10				9		
	11	精神科来診・自動車文庫	ハンドマッサージ		10		
	12	花まつり・愛恵こどもの園交流会	スポーツ		11		
	13				12		将棋
	14		ヨーガ		13	介護職員会議・(内)来診	茶道
	15	防災自主点検	生け花		14	精神科採血	ハンドマッサージ
	16				15		
	17	あすなろ講座	将棋		16	環境美化・観音供養・給食会議	
	18	環境美化・観音供養・給食会議			17		
	19	職員会議・ケース会議・園内研修			18		
	20				19		
	21				20	職員会議・ケース会議・園内研修	生け花
	22		書道、絵手紙		21	あすなろ講座	
	23	内科来診			22	精神科来診	
	24	生活相談会	笑いヨガ		23		ペン習字、書道
	25	精神科来診	音楽		24		スポーツ
	26		スポーツ		25		
	27				26		
	28				27	内科来診	絵手紙
	29	ミニコンサート	カラオケ		28		音楽
	30	統計調査・内職金支給			29	生活相談会	カラオケ、ヨーガ、笑いヨガ
					30	内職金支給	
					31	統計調査	

「花まつり」

4月8日は、お釈迦様のご誕生です。お釈迦様の像に甘茶を掛けて祝いました。

「クリーン作戦」

根上り松公園、拘置所前、愛恵こどもの園、園敷地内の雑草を丁寧に除去しました。

月	日	行事	クラブ
6	1		
	2	避難訓練・懇談会・誕生会・バイキング	
		園内カラオケ大会・日用品代支給	
		身体測定	
	3		茶道
	4		
	5	指導員会議	
	6		
	7	地域体験交流会	
	8		
	9		
	10	介護職員会議・(内)来診	生け花、手芸
	11		
	12	精神科来診・自動車文庫	
	13	春ゼミナール	
	14		スポーツ
	15		
	16		ハンドマッサージ
	17		アニマルセラピー
	18	環境美化・観音供養・給食会議	
	19		ヨーガ
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		
	22		カラオケ
	23		ペン習字
	24	内科医来診	
	25	あすなろ講座	音楽
	26	精神科来診・生活相談会	絵手紙
	27		書道、将棋
	28	内職金支給	スポーツ
	29		
	30	統計調査・内職金支給・アンサンブルローズ	

月	日	行事	クラブ
7	1	避難訓練・懇談会・誕生会・身体測定	
		室内ゲーム・日用品代支給	
	2		
	3		
	4	指導員会議	
	5		
	6		
	7	七夕	
	8	内科医来診	手芸
	9	介護職員会議・あすなろ講座	
	10	精神科来診・自動車文庫	
	11		
	12		スポーツ
	13		
	14		
	15	県救護施設親睦カラオケ大会	
	16		ヨーガ
	17		
	18	環境美化・観音供養・給食会議	
	19		
	20	選挙	
	21		
	22	職員会議・ケース会議・園内研修・内科医来診	生け花
	23	生活相談会	ハンドマッサージ
	24	精神科来診	絵手紙
	25	盆踊り大会	
	26	退園者交流会	スポーツ、笑いヨガ
	27		
	28		ペン習字
	29		カラオケ、書道
	30		音楽
	31	統計調査・内職金支給	

「春ゼミナール」

グリンピア牧之原(製茶工場)を見学、帆船オーシャンプリンセス号の前で記念撮影。

「盆踊り大会」

地域の方を招き園内で盆踊り大会を開催しました。皆さん楽しく行う事ができ、地域の交流の場になりました。

月	日	行事	クラブ	月	日	行事	クラブ
8	1	避難訓練・懇談会・誕生会 日用品代支給・ランチコース・身体測定		9	1	総合防災訓練・懇談会・誕生会 日用品代支給・身体測定・嗜好品調査	
	2	佐鳴湖花火大会			2		茶道
	3	こどもえんにち(キッズマルシェ)			3		
	4	指導員会議・リスクマネージメント委員会・内科医来診			4		
	5		茶道		5	指導員会議	
	6				6		
	7				7		
	8	介護職員会議	将棋		8		
	9				9	内科医来診	生け花
	10				10	介護職員会議	
	11				11	精神科来診・自動車文庫	ヨーガ
	12		生け花		12		
	13	介護職員会議	音楽		13	退園者交流会	
	14	精神科来診			14		
	15	盂蘭盆会			15		手芸
	16				16		ハンドマッサージ
	17				17	あすなろ講座	
	18	環境美化・観音供養・給食会議			18	環境美化・彼岸観音供養・給食会議	
	19	あすなろ講座					
	20	職員会議・ケース会議・園内研修 観音供養			19 20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21	自動車文庫・県救護施設親睦ボウリング大会			21		
	22		ハンドマッサージ		22		
	23				23		
	24		カラオケ		24	内科医来診	音楽
	25				25	精神科来診・生活相談会	
	26	内科医来診	ヨーガ		26		
	27	生活相談会			27		
	28	精神科来診			28	鴨江北町祭り	
	29	内職金支給	絵手紙		29		アニマルセラピー
	30				30	統計調査・内職金支給	書道、絵手紙
	31	統計調査					

「救護施設ボウリング大会」

藤枝市内のボウリング場で、静岡県救護施設ボウリング大会が実施されました。総合優勝し、個人入賞する人もいました。

「鴨江北町　秋祭り」

鴨江北町自治会では、夏祭りに変わって、秋祭りが実施されるようになりました。慈照園もゲームの模擬店を出展しました。

月	日	行事	クラブ
10	1	避難訓練・懇談会・誕生会・身体測定 日用品代支給・わがまちめぐり	
	2	指導員会議・リスクマネジメント委員会・健康診断	
	3		
	4		
	5		
	6	十五夜	
	7		茶道
	8		手芸、ハンドマッサージ
	9	精神科来診・自動車文庫	
	10	介護職員会議	
	11		
	12		
	13		
	14	内科医来診	生け花
	15	あすなろ講座	
	16	防災自主点検	
	17	環境美化・観音供養・給食会議	手芸
	18		笑いヨガ、手芸
	19		手芸
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		
	22	生活相談会	音楽
	23		書道
	24	精神科来診	
	25		カラオケ
	26	佐鳴湖ウォーキング（西地区社協）	
	27		絵手紙、ヨーガ、笑いヨガ
	28	内科医来診・インフルエンザ予防接種	ペン習字
	29		
	30		
	31	内職金支給・統計調査	生け花

月	日	行事	クラブ
11	1	感謝のつどい・誕生会	
	2	十三夜	
	3		
	4	施設防災訓練の日・懇談会・身体測定・日用品代支給・インフルエンザワクチン接種	
	5	指導員会議・精神科採血	
	6		
	7		ハンドマッサージ
	8		スポーツ
	9		
	10		
	11	介護職員会議・内科医来診	
	12	あすなろ講座	音楽
	13	精神科来診・自動車文庫	
	14	秋ゼミナール	
	15		
	16	鴨江北町公民館祭り	
	17	環境美化・観音供養・給食会議	
	18		
	19		
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	ペン習字
	21		
	22		カラオケ、スポーツ、笑いヨガ
	23		
	24		
	25	内科医来診	絵手紙、ヨーガ
	26	親睦スポーツ大会・生活相談会	
	27	精神科来診	書道
	28	内職金支給	
	29		
	30	統計調査	

「茶道クラブ」

茶道クラブは、講師 斎藤直美さんの指導を受けて毎月1回実施しています。本格的な茶道具で練習しています。

「秋ゼミナール」

秋ゼミナールで、トヨタ自動車博物館と香嵐渓へ出かけました。トヨタ自動車博物館では、世界中の名車を見ることができました。

月	日	行事	クラブ	月	日	行事	クラブ
12	1	避難訓練・懇談会・誕生会・身体測定		1	1	新年祝賀式	
		ランチコース・日用品代支給	茶道		2	初詣	
	2				3	新年お楽しみ会・身体測定	
	3	障害者交流会(当事者のお話を聞く会)			4		
	4	指導員会議・リスクマネジメント会議			5	夜間避難訓練・誕生会・新年お楽しみ会・日用品代支給・身体測定・書初め	
	5	浜松市救護施設親睦スポーツ大会	ハンドマッサージ		6	懇談会	茶道
	6						
	7				7	指導員会議・あすなろ講座	
	8	年賀状支援			8	精神科医来診	
	9	介護職員会議・内科医来診・救助袋訓練・初期消火訓練	生け花		9		
	10				10		
	11	愛恵こどもの園発表会			11		
	12		ヨーガ		12	成人の日	
	13		スポーツ		13	介護職員会議・内科医来診	
	14	こどもえんにち(ねりきり・ランチ)			14		ヨーガ
	15				15	自動車文庫	
	16		絵手紙		16		ハンドマッサージ
	17	あすなろ講座			17		
	18	環境美化・観音供養(成道会)・給食会議			18		
	19	職員会議・ケース会議・園内研修			19	環境美化・観音供養・給食会議	
	20				20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21				21	生活相談会	
	22		アニマルセラピー		22	精神科来診	
	23	内科医来診	書道		23		
	24		音楽		24		スポーツ
	25	精神科来診・生活相談会	ペン習字		25		笑いヨガ
	26	内職金支給			26		
	27	大掃除(園外)・年忘れ会	笑いヨガ		27	内科医来診	絵手紙
	28				28		音楽
	29				29		
	30		生け花		30	内職金支給	
	31	統計調査・カレンダー支給			31	統計調査	

「年忘れ会」

職員3チームと利用者自治会チームに分かれて、出し物を実施しました。大喜利に挑戦したチームや、クイズを考えたチームもあり、盛り上がりました。

「新年会」

新年お楽しみ会では、「福笑い」や「魚釣りゲーム」を行いました。

月	日	行事	クラブ
2	1		
	2	避難訓練・懇談会・誕生会・身体測定・日用品代支給	
	3	節分会	茶道
	4		
	5	指導員会議・リスクマネージメント委員会	
	6		ハンドマッサージ
	7		
	8	精神科来診	
	9		
	10	内科医来診・介護職員会議	生け花
	11	建国記念日	
	12		
	13	精神科来診・あすなろ講座・自動車文庫	ヨーガ
	14		スポーツ
	15		
	16		
	17		
	18	環境美化・涅槃会・給食会議	
	19	救助袋使用訓練	
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		笑いヨガ、手芸
	22		
	23	天皇誕生日	
	24	内科医来診	書道
	25	生活相談会	音楽
	26	精神科来診	ペン習字
	27	内職金支給	絵手紙
	28	統計調査	スポーツ、将棋

月	日	行事	クラブ
3	1		
	2	懇談会・誕生会・避難訓練・身体測定	
		話し方大会・ひな祭り・日用品代支給	生け花
	3	内科聴打診	
	4		
	5	指導員会議・慈照園説明会	
	6		ハンドマッサージ
	7		
	8		カラオケ
	9		
	10	介護職員会議・内科医来診	茶道
	11	給食訓練	
	12	精神科来診・自動車文庫	
	13		
	14		
	15	こどもえんにち(かざり巻き寿司)	
	16	環境美化・彼岸観音供養・給食会議・ランチコース	
	17		アニマルセラピー
	18		
	19	職員会議・ケース会議	
	20	春分の日	
	21		
	22		
	23	苦情解決委員会	
	24	内科医来診	
	25		音楽
	26	精神科医来診	ペン習字
	27		書道、絵手紙
	28		スポーツ、笑いヨガ
	29		
	30		ヨーガ
	31	統計調査・内職金支給・職員会議	

「節分会」

左右田会長の読経・回向の後、慈照園にたくさん福が訪れるようにと豆をまきました。

「ひな祭り」

ひな祭りでは毎年お雛様の前で女性陣が写真を撮り、そのあとはみんな楽しみなひな祭りのケーキです。

（3） クラブ活動実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

今年度は多くのボランティアの先生方に来ていただき、先生方のご指導のもと知識や技を磨き、それぞれの利用者が持てる力を発揮している。職員も、有意義なクラブになるように工夫を凝らしている。

	クラブ名	実施回数	人員	ボランティア	内　　容
教養	書　道	10 回	9 名 固定		季節に合わせた文字の見本を見ながら練習・清書を行い、毎月展示を行った。また正月は園全体で書初めも行った。
	ペン習字	8 回	9 名 固定		季節の短歌を何種類か用意し、どういった意味なのか、季節や心情を感じた中で、清書した。
	茶　道	11 回	1月 名 固定	齋藤直美さん	斎藤さんからお点前の指導をもらい和敬清寂の精神を養った。「感謝の集い」ではお客様にお茶を立てた。
	生け花	10 回	4 名 固定	齋藤直美さん	齋藤さんにアドバイスをもらいながら、季節のお花をそれぞれ生けて展示した。
	音　楽	13 回	20 名 固定	木村裕子さん	毎月季節の曲を歌ったり、リズム遊び、ハンドベルやカスタネットなど楽器にも触れながら音楽を楽しんだ。
	将　棋	3 回	10 名 固定		利用者さんがお互いに声を掛け合って対局を行った。1年を通して笑顔が見られるクラブ活動だった。
	絵手紙	11 回	9 名 固定	鈴木八重子さん	八重子先生にアドバイスを頂きながら、その時々の季節の野菜や花を各々に楽しみながら、描いた。
	カラオケ	8 回	9 名 固定		カラオケを通じて、歌うことの楽しさを育むことを目的として活動を実施した。
	アニマルセラピー	4 回	変動 同好会	日本アニマルセラピー協会浜松支部	毎回利用者さんも楽しみにしているセラピー犬たちの来園。今年度もワンちゃんと触れ合い、可愛さに癒されることができた。
	手芸	10 回	変動 同好会		「感謝のつどい」での作品展示・販売を目指し月1回以上チクチク作品作りを行った。
	ハンドマッサージ	13 回	変動 同好会	住吉苗子さん	「気持ちよかった」とリピートしている利用者さんも多く、マッサージをしながら先生との雑談も楽しみにしている。
運動	スポーツ	10 回	14 名 固定	高校生２名	ソフトボールやソフトバレーなどを楽しみながら汗を流すことが出来た。また他救護施設とのソフトボールの交流戦も行った。
	笑いヨガ	9 回	11 名 固定		YouTubeの笑いヨーガ講座を視聴しながら行った。 独自の呼吸方法や発声方法を覚えながら、楽しい一年を過ごした。
	ヨーガ	12 回	6 名 固定	山内亜紀子さん	山内先生が毎回個々の体調を聞いてくださり、その日の体調に合わせた動きを行ってくれるので、満足度の高い時間を過ごせた。

6.作業支援の状況

(1)園内作業

A社、D社、E社から継続して内職作業をいただいた。またB社の封緘も年2回、引き続き受注することができ、収入面での効果は大きい。A社、D社、E社、とも継続入荷できている中で、A社は、全体的に減であるが、E社は、新しい内職作業により、大幅に伸びている。

新しい内職作業がいくつか入ってきたが、利用者さん自身で、作業の体制、段取りを考え、職員とのコミュニケーションで、より質の高い作業へ繋がっている。

利用者さんの前向きな取り組みにより、ランクアップとなった利用者もみられた。2つの作業業者の内職の内容が、より質の高いものへ変更となり、軌道に乗るまで時間を要したが、現在は対応でき、量も確保できるようになった。

① 園内作業実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業内容	A社	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り
	B社		封緘作業				封緘作業						
	D社	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品
	E社	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業・自動車部品	軽作業・自動車部品

② 作業稼働日と月平均勤務率

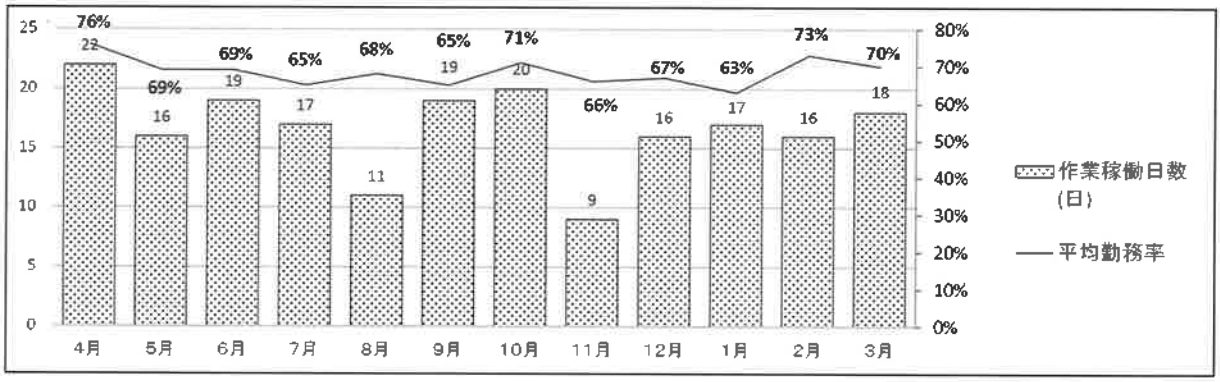
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作業稼働日数(日)	22	16	19	17	11	19	20	9	16	17	16	18	200
月平均勤務率	76%	69%	69%	65%	68%	65%	71%	66%	67%	63%	73%	70%	69%

※1コマ以上作業をした日を1日とカウントする作業稼働日数で勤務状況を分析することとする。
※8月は、休暇が長くなり、11月は、内職業者からの入荷が減り、作業稼働日数が少なくなった。

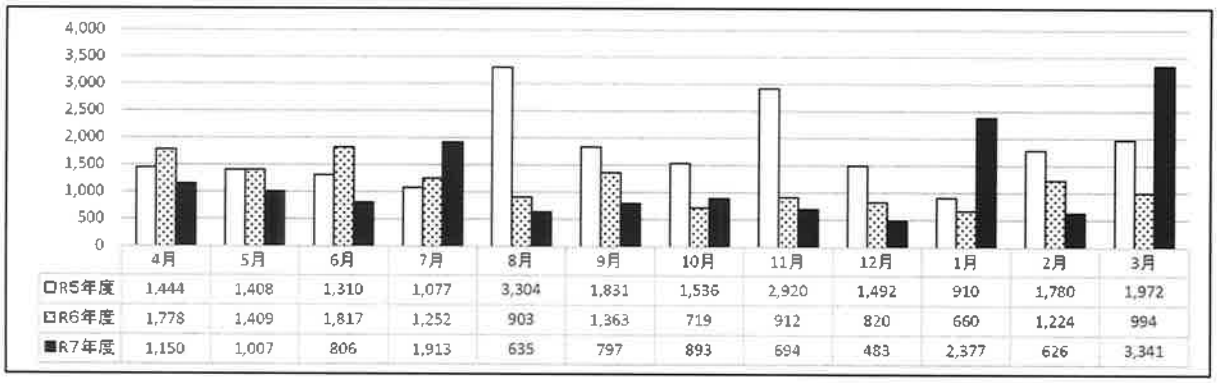
③ 年間勤務率

年間作業稼働日数(日)	200
勤 務 率	69%

④ 月別作業日数と平均勤務率

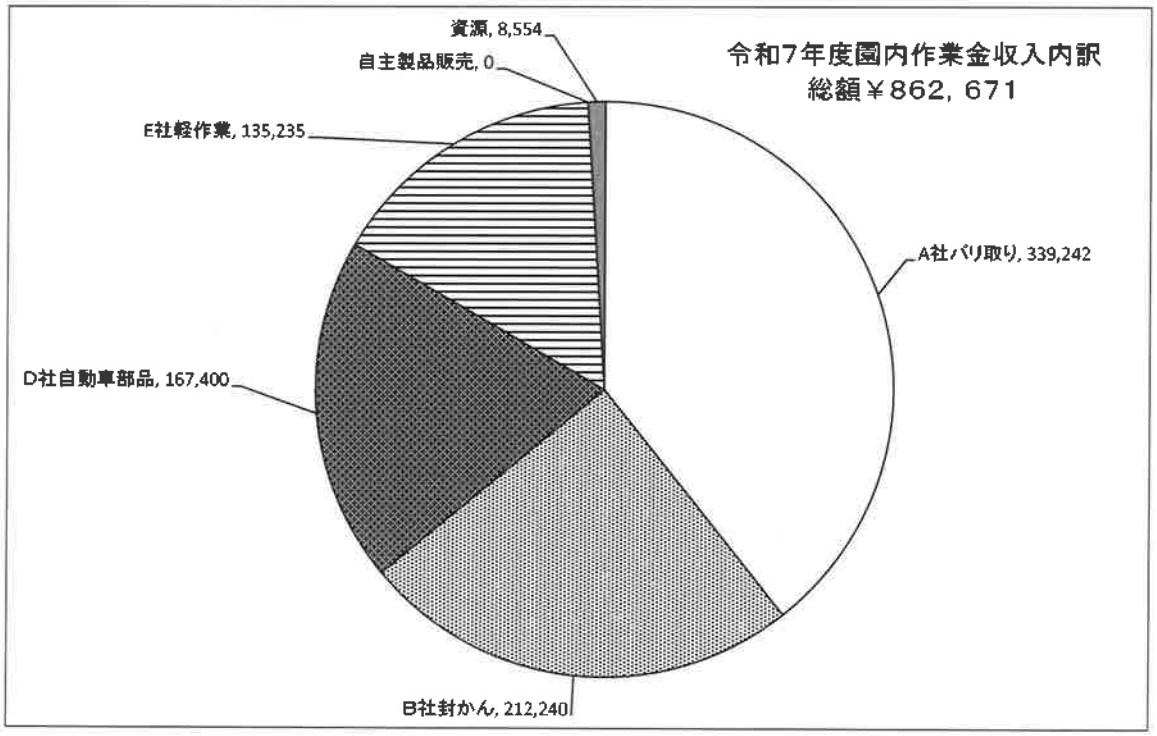


⑤ 月別平均支給金　　平均　1,227 円



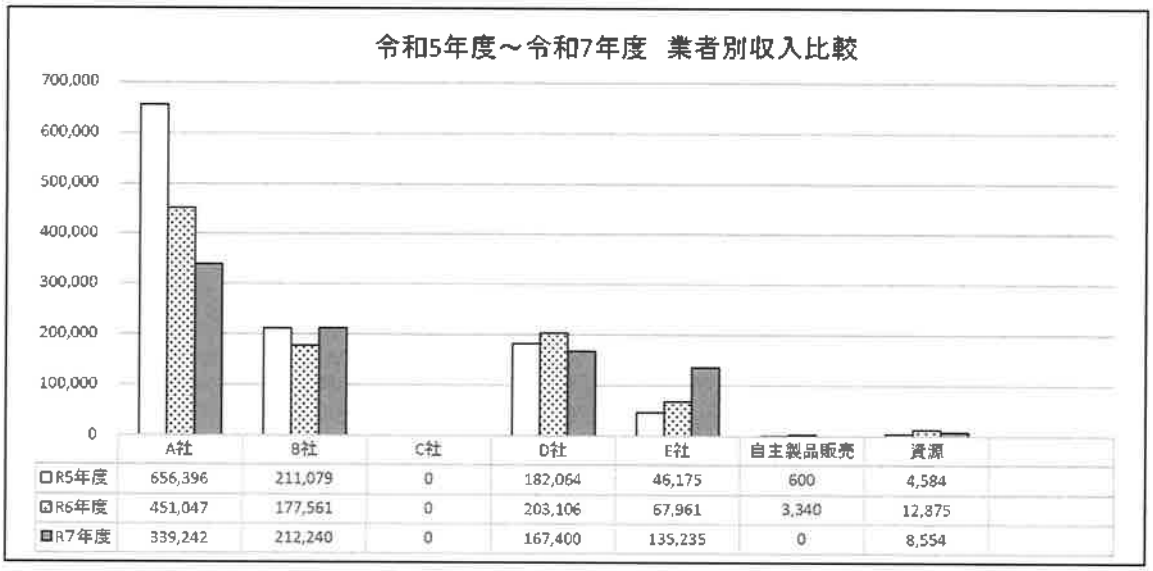
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
□R5年度	1,444	1,408	1,310	1,077	3,304	1,831	1,536	2,920	1,492	910	1,780	1,972
▨R6年度	1,778	1,409	1,817	1,252	903	1,363	719	912	820	660	1,224	994
■R7年度	1,150	1,007	806	1,913	635	797	893	694	483	2,377	626	3,341

⑥　園内作業金収支状況



A社のバリ取りは、月毎の増減はあるものの比較的安定している。
D社の自動車部品は、途中やりやすい部品から技術が求められる部品に変わったが、現在は作業がコンスタントにできている。
E社の軽作業は、中盤に減ったが、その後新しい作業が入り、前向きに取り組むことで、終盤は作業量が増えた。
Ｂ社の封緘作業は例年通り年２回受注となった。期間限定の仕事で全体で取組み、利用者さんのやる気に繋がっている。

⑦　業者別収入比較



	A社	B社	C社	D社	E社	自主製品販売	資源
R5年度	656,396	211,079	0	182,064	46,175	600	4,584
R6年度	451,047	177,561	0	203,106	67,961	3,340	12,875
R7年度	339,242	212,240	0	167,400	135,235	0	8,554

(2)園外作業

令和7年度は、7名の利用者が園外作業に出かけた。個別支援により各自ハローワークやジョブサポートセンター等にて就職活動を行い、5名が新規に就職した。うち1名は就職による地域移行の為退園した。
令和8年3月31日現在4名が就労継続中である。

① 就労人数

業種	清掃業	農業	交通整理	計
人数	5	1	1	7
雇用保険加入数	1	0	0	1
健康保険加入数	1	0	0	1

② 年間実働人数

月	清掃業①	清掃業②	清掃業③	農業	交通整理	その他	計
4	1	1	0	1	0	0	3
5	1	1	0	1	0	0	3
6	1	1	0	1	0	0	3
7	1	1	0	1	0	0	3
8	1	1	0	1	0	0	3
9	1	1	0	1	0	0	3
10	2	1	0	0	0	0	3
11	2	1	0	0	0	0	3
12	2	1	0	0	1	0	4
1	2	1	1	0	2	0	6
2	3	1	0	0	0	0	4
3	3	1	0	0	0	0	4
新規就職者	2	0	1	0	2	0	5
退職者数	1	0	1	1	1	0	4
外勤退園者	0	0	0	0	1	0	1

③ 職場訪問回数

月	計
4	0
5	0
6	0
7	1
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
1	0
2	0
3	1
計	2

④ 就労支援グループワーク「きぼう」

「きぼう」では、必要な礼儀・知識を身に付けると共に、就労への動機づけを明確にした。

月	内容	参加人数	職員
5	希望者に将来についてのアンケート実施	5名	1名
9	スキルアップスクールSES浜松　見学	3名	1名
11	SDGSホーム浜北本沢合とヒーローズわーくす&らいふ見学	7名	2名
12	就労継続支援B型事業所そらあい　見学	4名	2名

7.保健の状況

（1） 定期健康診断検査結果

令和7年10月2日～令和8年3月31日

項目		受診者数	精検者数	精検後継続治療が必要になった者（治療中の者は除く）
10月2日	血液	35	0	0
	胸部		4	1
	心電図		1	1
	前立腺		2	0
	大腸		3	0
11月28日	婦人科	2	0	0
3月3日	聴打診	45	0	0
合計		82	10	0

① 血液検査で腎機能異常の指摘を受けるものの多くは、塩分控えめにするよう促している。
② 胸部精査施行した1名と心電図精査施行した1名が、経過観察にて1年後に再度受診予定となった。

（2） 月別通院調

令和7年4月1日～令和8年3月31日

年月		7									8			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
生保	初診	0	7	11	7	3	5	3	16	9	5	8	5	79
	継続	111	107	109	106	105	105	99	105	102	102	95	101	1247
保険他	初診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	継続	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	6	51

（3） 診療科別通院調

令和8年3月31日現在
（3月入所実人員47名）

区分	精神科	内科	耳鼻科	整形外科	消化器科	外科	皮膚科	腎・泌尿器科	婦人科	脳外科	眼科	歯科	その他	合計
人員	42	27	2	2	0	3	9	3	0	0	3	6	4	101

※ 精神科・内科については、各々月2回嘱託医が慈照園診療所(医務室)にて受診している。
複数の診療科へ受診している人は、それぞれ計上されている。

① 3診療科目以上の科目を受診し、治療をうけている利用者の数は13名(3月末データ)となる。
② 皮膚科は、乾燥によるもので軟膏や内服により落ち着いているが季節により悪化も見られる為、現在も継続して受診している。

（4） 感染症関係

① 新型コロナウィルス感染症(COVID-19)
予防接種は今年度、接種は施行していない。
令和6年12月以降コロナ感染症の罹患者は出ていない。
基準に基づいた感染対策を施行し、利用者の検温や状態チェックの実施。
外出後の、手洗い・うがいの声掛け・手指消毒、換気、施設内の消毒、感染予防用品の確保を行った。
令和7年8月から9月に咽頭痛と熱発の利用者13名いたが、抗原検査陰性の為隔離対応し軽快した。

② インフルエンザ

利用者・希望職員を対象とした予防接種を11月に実施した。

新規入所者は静養室にて隔離対応で経過観察を行い、利用者に感染はなかった。

③ レジオネラ症

浴槽水のレジオネラ属菌水質検査(7月)

④ 結核

胸部レントゲン検査実施、結核報告はなし。

⑤ 消化器系感染症

ノロウイルス感染症の感染者はいなかった。

⑥ 皮膚の感染症

白癬は月1回の確認を行い、病巣が確認された場合は毎日の清潔に努め、市販薬を使用し早期治療を行った。利用者の状態により、市販薬を自己管理とし無くなったら交換とした。

湿疹のある利用者も多く、確認後早期の皮膚科受診を勧めた。

疥癬への罹患者はいなかった。

(5) 服薬管理

確認管理からカート管理へ移行7名、カート管理から自己管理へ移行7名となり、再び自己管理からカート管理や確認管理へ戻るなどして、利用者の状態に応じて支援した。自己管理者は個人の薬にスケジュール袋の購入を進め、医務室で確認し1週間から2週間ずつへと支援した。

薬の依存者に対して、面談し自覚を促す服薬の大切さを教えた。

(6) 医療機関との連絡調整

入院利用者計7名。(精神科1名、消化器科1名、呼吸器科1名、皮膚科2名、救急科1名、血液内科1名)

(7) 清潔保持

外出時等の手洗い・うがいの声掛けに努め,基本的生活習慣が身につくよう支援した。

(8) 歯科支援

① 令和7年6月 歯と口の健康フェスタは開催されているが歯周病検診は行っていない。歯周病検診受診券の届いた8名中5名を治療対象とし、歯科受診し治療が終了した。

② 令和7年11月12日、三森 崇正歯科医師に講師を依頼し、口腔ケアについて学習をした。

③ 歯磨き支援の必要な利用者に対して1日3回(1日延べ11名)の歯磨き支援実施。

④ 疾病に伴い嚥下機能低下、意識力困難が見られる利用者が増加しているため見守り体制の強化に努め、声掛けを職員に促した。状態に応じて食事形態を変更した。

⑤ 嚥下対策として利用者全員参加の嚥下体操を実施した。

(9) 血圧・体重測定・メタボリックシンドロームをふまえた支援

	BMI値	身長(cm)	体重(kg)
男性	21.7	167.2	64.2
女性	19.4	155.4	46.8
全体	20.5	161.3	55.5

※利用者の平均BMI値は正常(20以上 24未満)である。

BMI 18.5以下のハイリスク者は3名。BMI 25以上のハイリスク者は4名となった。

（10） 健康相談

自ら訴える利用者だけでなく状態に応じ健康管理に努め、早期の治療へと繋ぎ心身の安定と健康保持に努めた。

（11） 健康の情報共有及び記録

福祉見聞録に記録を残し、健康状態の把握にチエック表を用い全職員が統一した。
支援が出来る様に全職員が勤務するまで口頭で報告、利用者の疾病把握を促した。

（12） リハビリテーションの実施

令和8年3月末現在の杖歩行者は1名、シルバーカー1名、歩行器1名である。
医師の指示によるリハビリが1名実施され、その他4名の利用者がリハビリ療法に励んでいる。
医師の指示による訪問マッサージが1名(週2回)実施され、その他希望者は自費によりマッサージを受けている。

年月		7									8			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
訪問マッサージ	生保	9	9	8	9	9	8	9	9	9	8	8	8	103
	自費	3	4	5	6	6	6	6	6	6	6	4	5	63

（13） 環境美化の日

毎月、環境美化の日を決め実施した。必要に応じて防虫対策をした。

（14） 広報及び啓発

保健支援重点項目に合わせてポスターやほけんだよりを掲示し、朝礼にて注意を呼びかけ健康意識を啓発した。利用者さんで病気に関する理解が難しい場合は、パンフレット等を貰い個々に指導した。

（15） 保健の日

毎月、時節に応じた内容と共に、外部の感染状況の情報を声掛けした。新型コロナウィルス感染症やインフルエンザ、熱中症の流行に伴い、利用者全員の体温測定の実施と水分補給への支援を早期に対応した。

（16） 災害時の対応

毎月の避難訓練、9月に総合防災訓練にて救急箱のチェック、11月に施設防災訓練を実施した。

8.給食の状況

園の給食は、健康保持増進に必要な栄養バランスの取れた食事を柱とし、暮らしをより豊かに彩る行事食や季節感のある食材を組み合わせ、なるべく温かい物は温かく、冷たい物は冷たくを旨とし提供した。

近年、若年者の入所者が増えているため、比較的短い入所期間で外勤終了後に地域移行するケースが増えている。入所者の入れ替わりが短期間で行われるため、半年ごとに基準量の見直しを行っている。

今年度も健康診断で貧血気味の利用者が多く、引き続き米飯にCa・Feの乳カル酵素を使用して各利用者の栄養状態や嗜好により、補食・間食の支援をしている。

(1) 令和7年度 年間平均実施給与栄養量(中盛)

日本人の食事摂取基準〔2025年度版〕より

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	レチノル当量	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
年平均実績	1869	70.9	54.2	665	12.8	738	1.5	1.1	111	8.3
基準量(10～3月)	1870	70	51.5	650	10	760	1.3	1.3	100	8.5
基準量(4～9月)	1870	70	51.5	650	10	760	1.0	1.1	100	8.5

※ビタミンB1は強化米使用のため

(2) 食事の分類

R8. 3. 31現在

食種		人数	備考
主食	普通食	46名	極小 1名、 特小 0名、 小盛 12名、 中盛 25名、 大盛9名
	粥食	1名	義歯不具合、消化不良
主菜 副菜 フルーツ おやつ	普通食	33名	
	一口大食	6名	義歯 義歯調整中 歯周疾患 歯牙欠損
	刻み食(みじん)	0名	義歯 義歯調整中 歯周疾患 歯牙欠損
	(固い物のみ)	1名	義歯 義歯調整中 歯周疾患 歯牙欠損 (りんご等)
	代替食	5名	牛乳→ヨーグルト代替え、そばアレルギー除去及び代替え
	とろみ	0名	
	透析食	2名	生野菜一茹こぼし、塩分制限
	減塩食	2名	塩分制限

(3) 特別食

体調不良者に対し、本人、医師、看護師、指導員、介護職員と協議の上、粥食、減塩等の治療食を個別対応した。

(4) 検査食

医師の指示により、検査に合わせて提供した。

(5) 選択食

月2回(昼1回夕1回)実施。
6月2日「バイキング」を実施。

(6) 嗜好調査

年2回、9月と2月に実施し、献立作成に反映させた。

(7) あすなろ講座

食育推進のため、栄養教室(講師:山下栄養士)を9月17日に実施した。
テーマ「栄養素と食事・バターを作ろう」

9. 防災活動実施状況

南海トラフ沖地震を念頭に、地震火災想定訓練を6月、9月、11月、1月、2月に実施した。備蓄食訓練については、9月、11月、3月に給食訓練を行い、災害時を想定した食事提供の仕方を確認した。

職員のAEDの使用訓練は、ユーチューブのAEDメーカーの使用方法を資料にて確認しながら訓練を行った。テントの設営訓練も、注意点などを確認しながら、実施した。また、改修工事により、新規に救助袋が設置され、救助袋の使用訓練を行った。

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月	日	実施内容	想定	備考
4	1	避難訓練　消防用設備　自主点検	昼間火災想定	車いす点検
	22	救助袋使用訓練		機器点検
5	1	避難訓練	夜間火災想定	
6	1	避難訓練	夜間地震火災想定	
	20	AED・心肺蘇生の使用訓練(職員対象)		園内研修
	8	機器点検(業者点検)		東海防災㈱
7	1	避難訓練	夜間火災想定	
8	1	避難訓練	夜間火災想定	
9	2	総合防災訓練	昼間南海トラフ地震想定	
		情報伝達訓練		
		地震防災応急対策訓練		
		防災袋・懐中電灯・ヘルメット点検		
		災害用トイレ設置訓練		
		給食訓練(備蓄食提供訓練)	ライフライン途絶	ごはん・汁物・サバの味噌煮・ひじき
10	1	避難訓練　消防用設備　自主点検	夜間火災想定	寝袋干し(天日干し)
11	4	「施設防災の日」訓練	昼間地震火災想定	鴨北自主防の人と西小まで避難訓練
		避難訓練		
		給食訓練(備蓄食提供訓練)	ライフライン途絶	ごはん・汁物・ぶり大根
		第1次避難所への避難訓練		
		災害用テント設置訓練		
		職員研修		テント設営訓練・浄化装置使用訓練
12	2	避難訓練	夜間火災想定	車いす点検・機器点検(自主)
	7	機器点検(業者点検)		東海防災㈱
	9	初期消火訓練		水消火器・補助散水栓使用訓練
		救助袋使用訓練		
1	5	避難訓練	夜間想定地震火災	
2	3	避難訓練	夜間想定地震火災	
	8	特定建築物・建築設備定期検査		㈱井上建築事務所
	19	救助袋使用訓練		
3	3	避難訓練	昼間火災想定	
	11	給食訓練(備蓄食提供訓練)	ライフライン途絶	おはぎ・クラッカー・みそ汁

10. 研修実施状況

（1） 園内研修

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月	対象	種別	テーマ	講 師	所属
4	指導員	福祉	担当業務とそのその業務の確認	廣瀬 幹雄 指導員	
	利用者	福祉	令和7年度 事業計画	左右田 雅子 園長	
	介護職員	福祉	担当業務とそのその業務の確認	日置 花那子 介護職員	
	職員	防災	防災設備・災害BCP	村山 欽也 指導員	
5	指導員	福祉	個別支援計画の作成	左右田 雅子 園長	
	利用者	福祉	障害福祉促進講座	高橋綾乃、飯塚康敬 職員	浜松市障害保健福祉課
	介護職員	生活	アセスメントについて	左右田 雅子 園長	
	職員	福祉	障害福祉について	國本 由衣 指導員	
6	指導員	福祉	実習生の受け入れ指導について	前門 貴子 指導員	
	利用者	健康	薬はなぜ苦くてカラフル	中村 祐子 薬剤師	トクダ薬局
	介護職員	福祉	内職金支給について	小川 真有美 指導員	
	職員	健康	AEDの使用訓練	佐藤 晃世 看護師	
7	指導員	福祉	困難事例の報告	廣瀬、國本、前門 指導員	
	利用者	生活	交通安全教室	交通安全協会交通安全指導員	浜松中央警察署
	介護職員	福祉	困難事例の報告	西河、金澤、川端 介護職員	
	職員	健康	事例検討	内山 敏 准教授	聖隷クリストファー大学
8	利用者	防災	大規模災害に備えて	中央区役所職員3名	浜松市中央区役所
	介護職員	福祉	デイサービスの状況(9月実施)	日置 花那子 介護職員	
	職員	福祉	前年度決算報告	今田 保幸 事務員	
9	指導員	福祉	保護費・事務費について	村山 欽也 指導員	
	指導員	福祉	防災対策・災害時の対応	村山 欽也 指導員	
	利用者	健康	ピトグラムを使用した食育講座	山下 恵 栄養士	
	介護職員	生活	不穏時の対応について	西河 久典 介護職員	
	職員	福祉	生活相談と苦情解決	廣瀬 幹雄 指導員	
10	指導員	福祉	新規利用者の受け入れについて	前門 貴子 指導員	
	利用者	福祉	人権、生活保護について	渥美 竜三 先生	浜松市健康福祉部福祉総務課人権啓発センター
	職員	健康	臨投薬投与について	服部 恒子 看護師	
11	指導員	福祉	パソコンについて	廣瀬 幹雄 指導員	
	利用者	健康	口腔ケア講座	三森 歯科医師	みもりfamily歯科クリニック
	職員	健康	精神医学	井口 博登 医師	神経科浜松病院
12	指導員	健康	慈照園の食事について	山下 恵 栄養士	
	利用者	健康	テーマ・感染症と健康管理	服部 恒子 看護師	
	介護職員	健康	慈照園の食事について	山下 恵 栄養士	
	職員	健康	感染症対策と感染対策BCP	佐藤 晃世 看護師	
1	指導員	福祉	福祉サービスと地域との連携	國本 由衣 指導員	
	利用者	就労	障害者雇用について	柿畑氏	ハローワーク職員
	介護職員	生活	就労移行について	國本 由衣 指導員	
	職員	健康	感染症対策訓練	前門 貴子 指導員	
2	指導員	福祉	介護保険について	前門 貴子 指導員	
	利用者	防犯	防犯講座	五十嵐氏 小池氏	浜松中央警察署

(2)園外研修

職員の業務内容に沿ったテーマの外部研修に参加した。

月	日	内容	主催者	会長	園長	指導員	介護職員	看護師	栄養士	事務員
4･5	28/21･22	キャリアパス対応生涯研修課程　中堅職員コース	県福祉人材センター			1				
5	10	全国TSネットワーク　全国大会	全国TSネットワーク		1	1				
5	15	役員改選対策セミナー	社会福祉法人会							1
5	22･23	全国救護施設経営者施設長会議	関救協	1	1					
6	3	コンプライアンス講座	県福祉人材センター			1				
6	16	安全管理研修会	浜松市防災協会				1			
7	10･11	関東地区救護施設研究協議会	関救協		1	1	1			
7	29	社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	県社会福祉士会			1				
8	29	県救護施設指導員研修	県救協			2				
9	27	県救護施設栄養士研修会	県救協						1	
10	7･8	全国救護施設研究協議大会	全救協	1	1	1				
10	9	総合消防訓練指導会	市防災協会				2			
10	22	県救護施設介護職員研修会	県救協				2			
11	5	風通しのよい福祉職場のつくり方	県福祉人材センター			1				
11	6	県救護施設看護師研修会	県救協					2		
11	10･11･12	関東地区救護施設職員研修会	関救協		1	1				
11	19	主任･管理職のためのメンタルヘルス講座	県福祉人材センター			1				
11	21	県救護施設施設長研修	県救協		1					
11	17	精神障がいを理解するための研修会　実践研修	市精神保健センター			1				
12	17･18	救護施設福祉サービス研修会	全救協		1					
12	25	社会福祉施設等防災研修会(オンライン)	静岡県		1					
1	29	県西部経営協経営者･施設長セミナー	県西部経営協							1
2	3	防災講演会	市防災協会				1			
2	5･6	関東地区救護施設協議会施設長研修	関救協		1					
2	19	県救護施設個別支援計画研修会	県救協		1	2				
3	10	施設SNSに活用できるカメラ講座	市社協			1				
3	13	レクリエーション研修	市社協				1			
3	16	カスハラ対策･クレーム対応研修	市社協			1				
3	9	市施設協保護施設部会施設長研修	市施設協保護施設部会		1					
計				2	11	16	8	2	1	2

11.地域交流状況

・機関紙発行、盆踊りや防災訓練等、地域交流会を開催し、地域住民に広報、参加促進した。
・鴨江北町や県内救護施設との親睦行事、各団体のサロンが開催され、参加した。
・実習生やボランティアの受け入れを行った。
・地域貢献のため、子ども向けイベント「こどもえんにち」を３回実施した。
　12月には市社協を通じて赤い羽根共同募金の助成を受け、昼食の提供をした。

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	園主催	交流内容	園参加者 利用者デイ含む	地域住民	家族	回数	交流室	備考
広報	*	機関紙「慈　光」	－	－	－	2	－	610部を年2回発行
自治会		鴨江北町秋まつり	25	多数	－	1	－	9/28　鴨江北町自治会主催　出店
	*	総合防災訓練	51	5	－	1	－	11/5　自治会自主防災隊支援依頼
		鴨江北町公民館まつり	14	多数	－	－	－	11/16　鴨江北町自治会主催　出展
子ども会	*	盆踊り大会	49	6	－	－	使用	7/25
		ラジオ体操	230	多数	－	5	－	8/18～8/22
地区社協		うたごえサロン	8	多数	－	2	－	浜松市西地区社会福祉協議会主催
学校	*	はなまつり	53	18	－	1	使用	4/10愛恵こどもの園園児職員来園
	*	愛恵こどもの園交流会	9	多数	－	1	－	12/11　愛恵こどもの園訪問
奉仕	*	クリーン作戦	52	－	－	1	－	公園、愛恵こどもの園清掃
地域福祉推進	*	感謝の集い	54	9	5	1	使用	11/1
	*	地域体験交流会	49	19	－	1	使用	6/7
	*	退園者交流会	－	28	－	3	－	本報告書29ページ参照
実習生		社会福祉援助技術現場演習	－	23	－	1	－	23日間×1名
		介護等体験	－	35	－	7	－	5日間×7名
ボランティアの受け入れ	*	アニマルセラピークラブ	68	4	－	4	－	有償ボランティア 6.9.12.3月
	*	将棋クラブ	28	－	－	3	－	不定期
	*	生花クラブ	28	10	－	10	－	毎月1回　ボランティア
	*	茶道クラブ	74	11	－	11	－	毎月1回　ボランティア
	*	書道クラブ	68	－	－	10	－	毎月1回　1月は書初大会
	*	ペン習字クラブ	45	－	－	8	－	毎月1回
	*	絵手紙クラブ	67	11	－	11	－	毎月1回　ボランティア
	*	スポーツクラブ	132	－	－	10	－	西小体育館とグラウンド利用
	*	ヨーガクラブ	43	12	－	12	－	毎月1回　ボランティア
	*	音楽クラブ	164	13	－	13	－	毎月1回
	*	笑いヨガクラブ	79	－	－	9	使用	毎月1回
	*	カラオケクラブ	80	－	－	8	使用	毎月1回
	*	手芸サークル	44	－	－	10	－	不定期
	*	楽器演奏　ボラ	86	6	－	2	使用	4/29五十嵐恵子さん6/30ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙﾛｰｽﾞ
	*	ハンドマッサージ　ボラ	46	13	－	13	使用	毎月1回
他施設との交流	*	障害者交流会	40	多数	－	1	使用	12/3中エリア連絡会主催　ZOOM参加
		県救護親睦ボウリング大会	10	多数	－	1	－	8/21　藤枝グランドボウル
		市救護親睦スポーツ大会	36	多数	－	1	－	11/26　浜松アリーナ
		県救護親睦カラオケ大会	37	多数	－	1	－	7/15　サーラ音楽ホール
		福祉ふれあいフェスタ	11	多数	－	1	－	1/17　浜松市社協主催
その他	*	観音供養	552	8	－	12	－	毎月18日前後　近隣寺院協力
		おしゃべりサロン	12	多数	－	3	－	cafeくんちゃん主催
	*	こどもえんにち	24	68	－	3	使用	8/3 ﾏﾙｼｪ 12/14ねりきり・ﾗﾝﾁ 3/15飾り巻寿司
	*	キッズボランティア	1(職員)	10	－	1	使用	3/29　キャンドルづくり
	*	慈照園説明会	6(職員)	5	－	1	－	3/5　支援者対象施設説明、見学
		静岡TSネットワーク	2(職員)	－	－	2	－	職員1名　ZOOM参加
		民生児童委員地区民協	－	239	－	9	使用	浜松市西地区民児協会場貸出

12.居宅生活訓練事業 実施状況

慈照園に入所している利用者が、民間住居（アパート）で実体験的に生活訓練を行ない、円滑に居宅生活に移行することを目的に平成26年度よりこの事業を開始した。訓練中は、体調の安定、日課（就労）への参加、金銭、服薬管理を徹底するとともに、退園後も安心して生活できるよう支援した。

(1) 利用者数の推移

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	
新規利用者	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
終了利用者	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
地域移行者	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
中止移行者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
中断利用者	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5
復帰利用者	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3

(2) 訪問回数(外出同行含む)

令和7年4月1日～令和8年3月31日

（回数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問回数	7	7	6	7	7	11	14	7	8	3	6	7	90

(3) 実績

今年度は6名が居宅訓練事業を利用。２名が地域移行、3名が新規に訓練を開始した。訓練中に無断外出があり訓練の中止移行者1名、また精神的不調・体調不調時で一旦中断し復帰した方が2名あった。

(4)グループワーク「つばさ」

地域移行を目標としたグループ学習会を５回実施した。

	内　容	参加人数
1回	ゴミ出しについて学ぼう	7
2回	こころの整え方	8
3回	金銭収支について考えてみよう	4
4回	GHと就労継続B型支援事業所見学	8
5回	当事者会に参加（caféくんちゃんに行こう）	8

13. 通所事業実施状況

デイサービス・通所事業（通所）の取り組み状況

浜松市から承認された通所事業(通所)の定員は10名、毎月5～7名の利用があった。体調不良により一時入所の措置をした通所事業登録者（通所・訪問）が2名あった。

(1) デイサービス･通所事業の利用状況　　令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
通所事業（通所）定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
通所事業（通所）月初措置人数	6	6	7	6	6	5	6	7	7	7	7	7	77
通所事業（通所）措置人数	6	6	7	6	6	5	6	7	7	7	7	7	77
措置外　通所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
措置通所者延人員	150	143	138	128	135	118	156	180	180	153	162	184	1827
延人員	150	143	138	128	135	118	156	180	180	153	162	184	1827

(2) デイサービス･給食サービスの利用状況　　令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録人員	6	6	7	7	6	5	6	7	7	7	7	7	78
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延人員	127	126	124	107	106	100	132	155	164	148	118	162	1569

(3) デイサービス･通所事業の年間利用状況　　令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

区分	R7. 3. 31	新規利用者数	利用終了者数	R8. 3. 31	年間実人員
人員	6	3 3（退所の方）	2 1（訪問のみへ） 1（他サービスへ）	7	9

(4) デイサービス･通所事業の取り組み

社会参加する場として、慈照園内の作業に従事し、入所利用者同様に園の行事や日課にも参加した。独自のサービスとして毎月1回、昼食作りを実施。

レクリエーションを目的とした日中活動を、毎月、居場所つくりとしての地域交流・退園者交流会を年４回企画し実施した。

自立援助事業(訪問)の取り組み状況

保護施設通所事業(訪問)の定員は15名(措置外利用者含まず)。措置人数は新規で5名の利用があり、18名の利用状況。措置ではなく施設独自の訪問支援は3～5名で推移。

(1)自立援助事業・通所事業(訪問)の利用状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
通所事業 (訪問) 定員	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
通所事業 (訪問) 月初措置人数	13	13	14	14	15	15	15	16	18	18	18	18	187
通所事業 (訪問) 措置人数	13	13	14	14	15	15	15	16	18	18	18	18	187
措置外　利用者数	3	3	3	3	3	3	4	5	3	3	3	3	39
利用者数合計	16	16	17	17	18	18	19	21	21	21	21	21	226

(2) 通所事業(訪問)の年間利用状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

区分	令和7.3.31	新規措置利用者数	利用終了者数	令和8.3.31	年間実人員
人員	12	6	0	18	18
		6 (慈照園退所者)			

(3) 連 絡 状 況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
来園	4	2	4	5	2	1	1	1	6	1	2	1	30
訪問	27	27	24	30	28	26	37	35	31	37	33	33	368
電話受信	12	11	10	9	5	6	4	7	1	13	7	3	88
電話発信	3	5	1	6	10	1	5	6	20	6	3	5	71
同行	1	0	2	0	1	0	0	1	1	2	1	11	20
計	47	45	41	50	46	34	47	50	59	59	46	53	577

(4) 退園者交流会利用状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月	日	内容	場所	参加人数
8	22	退園者交流会(ランチ)	園外	5
12	30	退園者交流会(忘年会)	のぞみ	12
3	15	退園者交流会(ランチ・カラオケ)	園外	11

14. 一時入所事業実施状況

・月半ばでの新規入所や、施設体験、通所事業利用者の体調不良時のレスパイト利用等があり、一時入所利用が増加した。
・生保受給をされていない方が増えた（その後取得）
・地域で生活する精神障害者が、一時的に利用することにより、地域生活を継続することができた。

(1) 一時入所事業の利用状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
一時入所利用者数		1	3	3	0	1	2	1	1	2	1	1	1	17
内訳	措置	1	3	1	0	0	2	1	1	1	1	1	1	13
	措置外	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
うち通所事業利用者の一時入所利用		0	0	30	0	0	3	0	0	0	1	0	0	34
延べ利用日数		20	46	33	0	5	23	12	17	33	12	16	20	237

(2) 一時入所の理由

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
施設体験	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
本入所前継続利用	1	3	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	12
体調不良	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
居住場所無し	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

15.苦情解決システム実施状況

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

1.苦情申出人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男　性	0	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	2	8
女　性	2	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	8
不　明	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
合　計	2	1	1	2	2	0	2	1	2	3	1	2	19

2.申出方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
投　書	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	4
面　談(口頭含む)	2	1	1	1	2	0	1	1	1	1	1	2	14
電　話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

3.申出人の所属

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	2	1	1	2	2	0	1	1	2	3	1	2	18
デイサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家　族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地　域	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4.相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活に関する個人の希望要望	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	4
支援内容に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員の対応等に関すること	1	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	2	8
施設の設備・対応等に関すること	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	5
家族に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者同士に関すること	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

5.相談分野

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
希望・要望	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	4
苦情	2	1	1	1	2	0	1	0	2	3	0	2	15

6.解決結果

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
解　決	2	1	1	2	2	0	2	1	2	2	1	1	17
未解決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
達成度	100%	100%	100%	100%	100%	/	100%	100%	100%	67%	100%	50%	89%

16. 情報公開の状況

（1）機関紙『慈光』の発行　年2回（1月、7月）

発行部数　610　部

＜部数内訳＞

行政機関	32	観音供養導師	78	学校関係	14
生活保護施設	64	民生委員	26	近 隣	116
他法施設	82	保護者	25	退園者	28
医療機関	42	後見人等	5	元職員	41
理事・監事・選任委員	9	職 親	4	評議員	6
第三者委員	2	ボランティア	6	その他	30

（2）ホームページの開設　随時更新

URL　http://jishoen.jp/

17. リスクマネジメントの状況

（1）事故報告書・ヒヤリハット報告書集計

	利用者				職員				作業	設備
	内訳1		内訳2		内訳1		内訳2			
事故報告書	11	無断外出	16	医療機関受診	1	車両	0	医療機関受診	0	0
	7	暴力								
	6	窃盗								
	4	セクハラ								
	3	転倒	23	医療機関未受診			1	医療機関未受診		
	3	ケガ								
	2	精神的不調								
	2	体調不良								
利用者39 職員1	1	破損	14	警察対応						
ヒヤリハット報告書	38	転倒	2	医療機関受診	15	動作不良	0	医療機関受診	1	30
	37	無断外出			12	配薬ミス				
	26	薬関係								
	20	嚥下			12	破損	44	医療機関未受診		
	17	暴力								
	15	破損			3	車両				
	9	精神的不調								
	8	体調不良	185	医療機関未受診	2	紛失				
	6	給食異物混入								
	4	紛失								
	3	ケガ								
	2	窃盗								
利用者187 職員44	1	セクハラ								
	1	無断喫煙								

18. 職員の構成

(1)職員配置

令和8年3月31日現在

※( )は非常勤、嘱託医は内科・精神科(名)

	園長	事務員	主任指導員	指導員	介護職員	看護師	栄養士	調理員	嘱託医	介助員	計
国の配置基準	1	1	−	1	8	1	1	4	(1)	1	18 (1)
現　数	1	1	0	3	11(1)	1	1	委託	(2)	1	19(3)

[居宅生活訓練事業(2) 通所(3)]
(育児休業1名、介護職員2名は指導員と兼任、及び介助員は看護師との兼任)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導員加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師加算	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0
介護職員加算	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0
精神保健福祉士加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

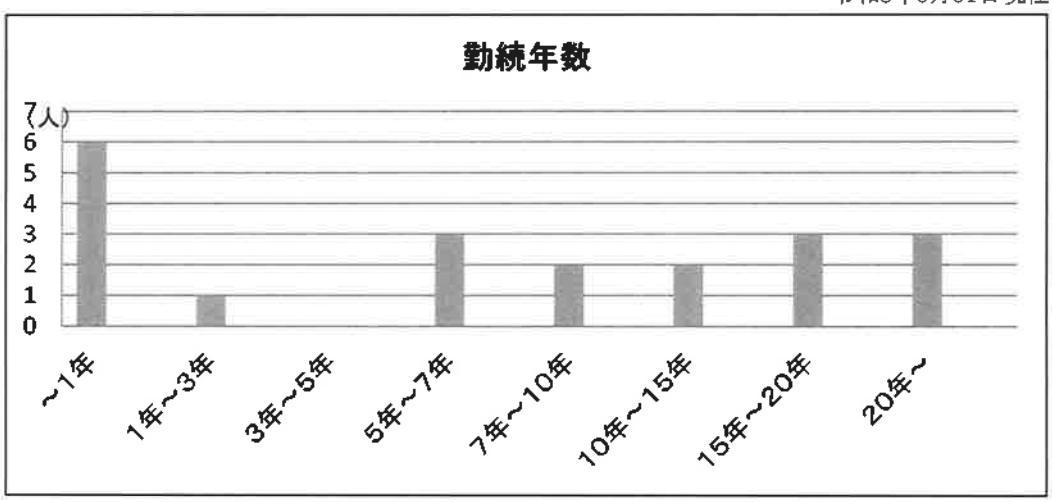
(2)取得資格

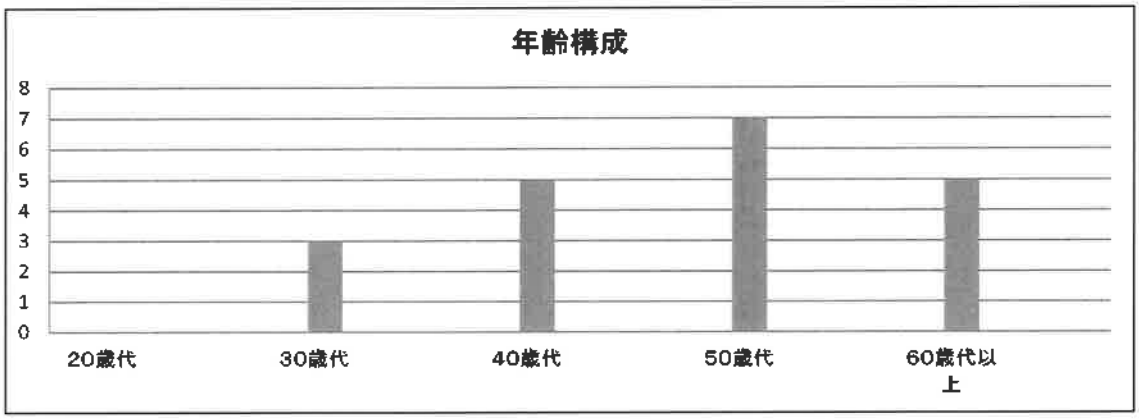
令和8年3月31日現在

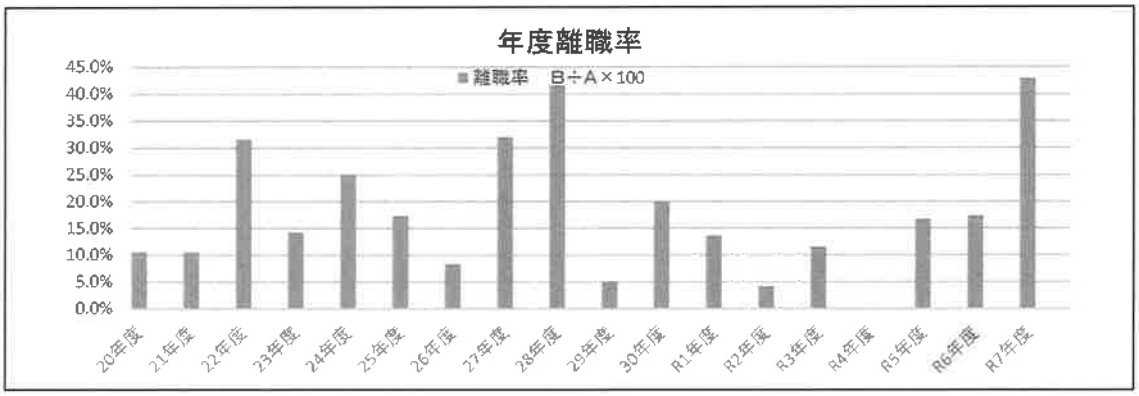
資格	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	社会福祉主事任用	介護支援専門員	訪問介護2級	保育士	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	防火管理者
人数(名)	5	4	6	11	3	7	0	1	1	1	2	4

(3)勤続年数

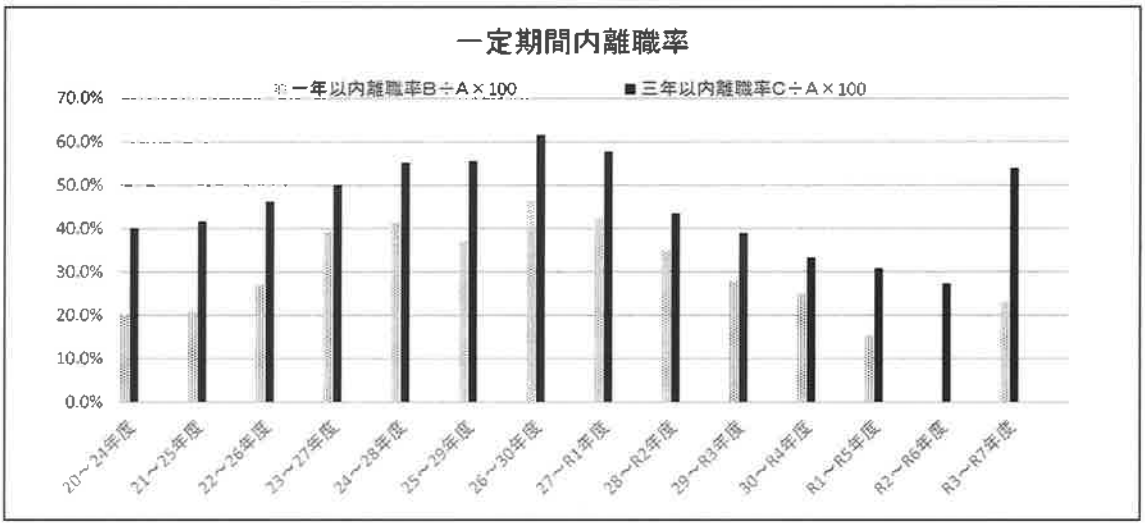
令和8年3月31日現在



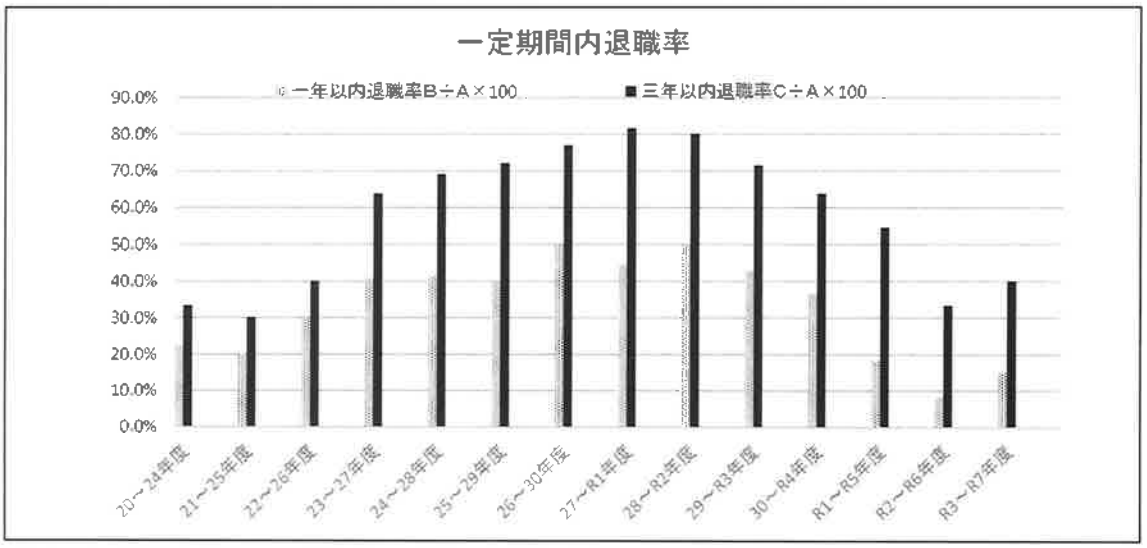




※離職率（年度中の退職者B／4月1日現在の在職者A）



※1年以内離職率（採用後1年以内の退職者数B／期間内の総採用者数A　3年以内離職率（採用後3年以内の退職者数C／期間内の総採用者数A）



※1年以内退職率（採用後1年以内の退職者数B／期間内の総退職者数A）　3年以内退職率（採用後3年以内の退職者数C／期間内の総退職者数A）

19.施設整備状況

1. 建物(基本財産)取得

①	パッケージエアコン	会議室、医務室	更新
②	パッケージエアコン	作業訓練室	更新

2. 土地取得

無し

3. 構築物取得

無し

4. 車両および運搬具取得

無し

5. 器具及び備品取得

①	業務用給湯器	厨房	更新
②	冷凍庫	厨房	更新
③	アンテナ工事	屋上	更新
④	防犯カメラ２台		新規取付
⑤	防犯カメラ		更新
⑥	ポータブル電源		更新
⑦	冷凍庫	厨房	除却
⑧	体重計		除却
⑨	ガス式スチームコンベクション	厨房	除却
⑩	ガス給湯器	厨房	除却
⑪	屋外防犯カメラ		除却
⑫	食器洗浄機	厨房	除却

6. 有形リース資産取得

①	スチームコンベクション	厨房	更新

7. 修繕(10万円以上)

(事業費)

①	照明改修、居室収納修繕	談話室、診察室、居室	更新
②	小型電気温水器	3階男性洗面所	更新

(事務費)

①	温水器	浴場用	点検整備
②	建物定期検査指摘事項		修繕
③	外壁補修調査		調査

20. アンケート実施報告

サービスの向上にむけて、利用者全員を対象としたアンケートを年4回実施し、個別の希望・要望・聞き取りをした。結果は、次年度事業計画に反映した。

月日	対象	方法	回収率	内容
令和7年7月16日	44名 (利用者・デイ利用者)	アンケート用紙に自筆で記入・記名	100%	行事、クラブ
令和7年10月14日	18名 (ご家族・引受人)	アンケート用紙に自筆で記入・記名	35%	慈照園サービス評価
令和8年1月6日	54名 (利用者・デイ利用者)	アンケート用紙に自筆で記入・記名	100%	令和8年度の行事
令和8年3月6日	52名 (利用者・デイ利用者)	アンケート用紙に自筆で記入・記名	100%	クラブ活動

令和7年度　慈照園サービス評価アンケート(利用者編)結果報告

1. アンケートの目的

　利用者に対し、慈照園のサービスに対するご意見・ご評価を伺い、今後の慈照園のサービス向上・改善に反映させるため

2. アンケートの対象

　令和7年11月1日現在、慈照園入所利用者48名、デイ利用者6名

3. アンケート方法

　自筆でアンケート用紙に記入・無記名

4. アンケート回収

　48名より回答を得た

〈アンケート結果〉

問11　困ったことを外の人（第三者委員など）にも相談できますか

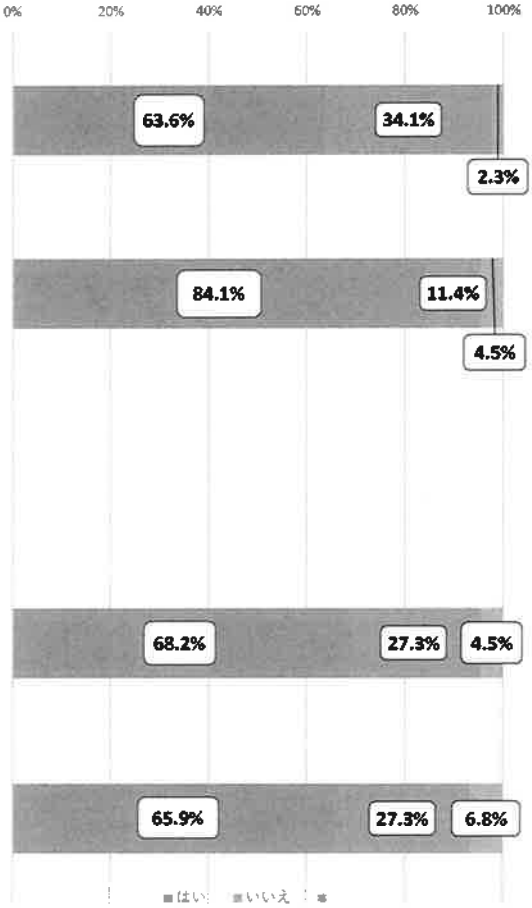
問12　あなたの目標・計画について、職員はあなたの状況をよく聞いて、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

過去1年以内に慈照園に入所しましたか

（以下「はい」と答えた方に質問）

問13　利用する前に、慈照園での生活や支援内容など、知りたいことについての分かりやすい説明がありましたか

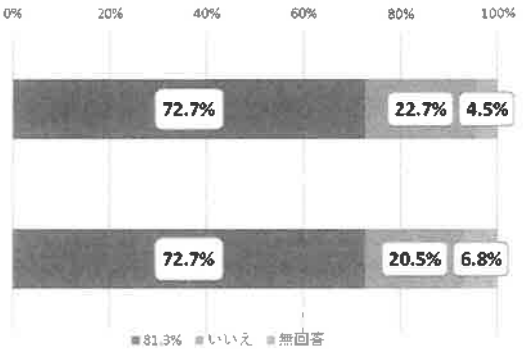
問14　実際に慈照園に入所してみて、説明と同じでしたか



≪以下、全利用者への質問≫

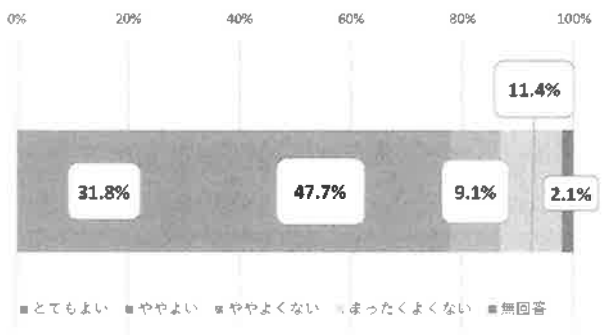
問15　あなたは不満や要望を職員に気軽にはなすことができますか

問16　職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか



≪総合的な感想について≫

慈照園はあなたにとってよいところだと思いますか（ひとつに○）



令和7年度慈照園サービス評価アンケート（ご家族・引受人編）結果報告

1. アンケートの目的
   ご家族・身元引受人の皆様から、慈照園のサービスに対するご意見・ご評価を伺い、今後のサービス向上・改善に反映させるため実施
2. アンケートの対象
   令和7年10月1日現在、慈照園入所利用者51名、デイ利用者6名のうち、郵送による連絡可能な家族または身元引受人32名
3. アンケートの方法
   アンケート用紙に返信用封筒を同封して郵送し、送付・回収という方法にて実施
4. アンケート期間
   令和7年10月1日（アンケート用紙配布）～令和7年10月14日
5. アンケート回収
   17名より回答を得た（回収率56%）

＜アンケート結果＞

問1 利用者は、やりたい活動ができている。

問2 利用者は、慈照園が楽しいと感じている。

問3 利用者は、目標に向かって努力している。

問4 職員は、利用者に適切な支援をしている。

問5 職員は、丁寧に利用者やご家族に接している。

問6 職員は一人一人の利用者の良いところを見てくれている。

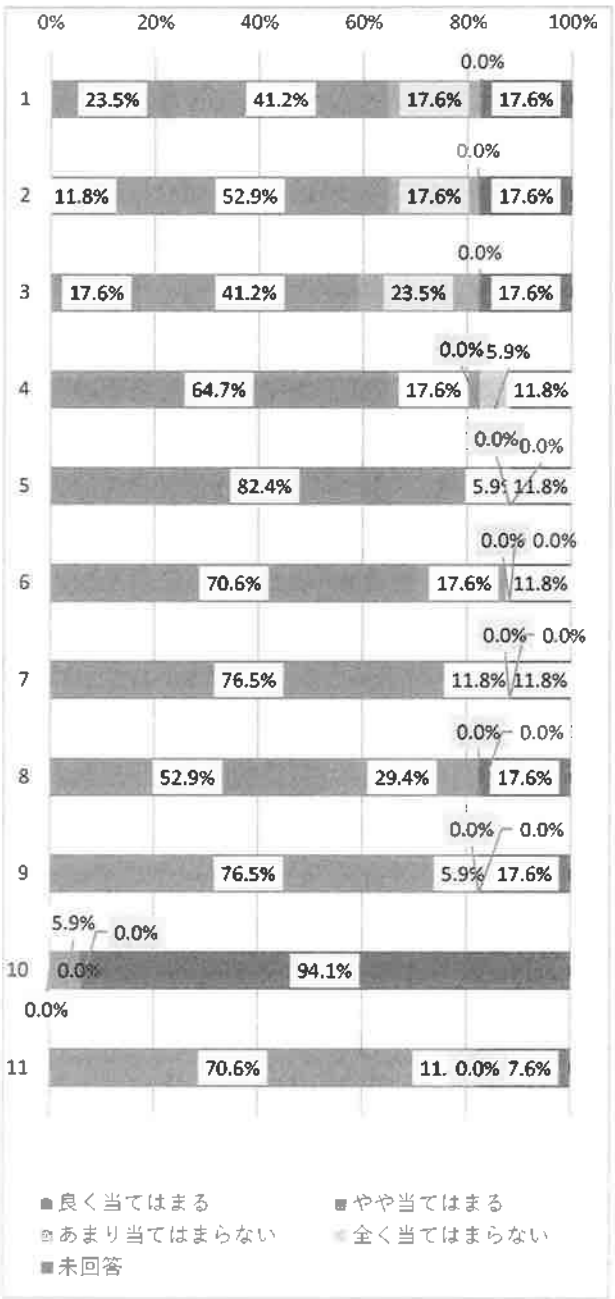
問7 利用者のことを慈照園に相談しやすい。

問8 慈照園の情報は発信されている。

問9 慈照園は、健康や安全確保の取り組みをおこなっている。

問10 利用開始時の説明はわかりやすいと思った。
※入所1年未満のご家族対象

問11 慈照園は、利用者にとって良い所だと思う。



2.自由回答（抜粋）

・精神的に社会とうまく関われない弟にとって、慈照園は大切な居場所です。
・慈照園がどんな所か分からないでいました。８月に慈照園に行った際、なんとなく分かりました。本人にはまず、生活が出来て、病院の方にも行けて良かったと思います。担当の方も話しやすいので、私なりにありがたいと思っています。
・私事で暫くご無沙汰してしまい申し訳なかったです。これからも是非よろしくおねがいします。

3.まとめ

・慈照園としての取り組みについては、評価を頂いたものの、未回答の存在もあり 、面会や外泊の制限があった状態で設問にお答えいただくことに限界があると感じた。
・集団生活であるものの、個別支援の原則を更に推し進め集団生活の良さを活かしながら個人の趣向、趣味性を一層、考慮していく必要がある。
・利用開始時は説明と同意の原則に従い、更に分かりやすく説明を工夫していかなければならない。
・ご家族が、更に当園に相談しやすくするために、利用者の状況を知っていただけるよう常に発信の努力を続けていく必要がある。

21. 福祉サービス自己評価

令和 6 年度に受審(評価結果確定日令和7年 3 月 25 日)した第三者評価結果をもとに、改善を求められている点を見直しした。

① 職員個々の目標設定や進捗管理など、育成に向けた取り組みが十分とは言えず、改善が必要

［対応］

レベルアップシートを復活させ、目標設定、中間評価、最終評価をまとめるようにした。

② 一法人一施設の小規模施設としての制約はありますが、人材確保、総合的な人事管理に改善の余地があります。

［対応］

人材確保のため、給与規定の見直しを行い、年度末の理事会で承認された。令和 7 年度 4 月の給与から反映される予定。

他部署のベテラン職員が、新人職員の OJT に関与するようになった。(佐藤看護師が新人介護職員の OJT に関わるようになった)

③ 二人部屋で境のカーテンさえも無い部屋があり、部屋の中がドアの窓ガラスを通して見られてしまう構造になっている。

［対応］

試験的に 201 号室仕切りカーテンを設置。部屋全体が暗くなったというデメリットが分かったが、明るい色のカーテンに変更して残りの部屋にも設置していく。

④ 苦情に関する掲示物に、第三者委員連絡先の明記がない。

［対応］　令和 8 年 4 月 1 日から福田委員の連絡先を明記した。

⑤ 相談について、複数の方法や相手を選べる事を説明した文書を作成していない。

［対応］　令和 7 年 5 月から重要事項説明書 11P に「どの職員でも相談は受け付けます」と明記された。

⑥ 個別支援計画等では、見直し等の記載が殆どなく、利用者本位の計画とは言い難く、個別支援計画の重要性を確認していただき、早々の改善に着手していいただきたい。

［未対応］

⑦ インターネット使用には課題も多いと理解致しますが、本人の意志・希望・個性の尊重の概念から許容範囲の中で選択肢を増やすことも改善できる余地があります。

［対応］　令和 7 年 6 月から利用者共用パソコンを設置。設置マニュアルも作成した。6 月～3 月の間に延べ人数 22 人の利用者がパソコンを利用し、14 人がインターネットを利用している。「共用パソコン使用履歴書参照」

⑧ 確認のために必要書類の提出をお願いしましたが、持参頂くまでに時間を要したものが多かったです。どこに何があり、何が記載しているのか等の書類内容把握はどの職員にとっても必要不可欠です。

［未対応］